（H26.4.14スタートアップ時）

鯖江市役所ＪＫ課プロジェクト概要

１　事業実施の背景について

　　鯖江市では平成15年に「鯖江市市民活動によるまちづくり推進条例」、平成22年に「鯖江市民主役条例」をともに市民提案から創り上げ、早い時期から「市民主役」「市民協働」のまちづくりを進めてまいりました。近年、これに加え、市民の皆様との情報共有を進めるツールとしてＩＣＴを活用した「オープンデータ」「データシティ鯖江」事業も全国に先駆けて実施をしております。また全国の大学生の皆さんに本市を訪れてもらい、いただいた様々な提案をもとに事業を行う「学生連携事業」も市政の大きな柱として位置付けております。こうした事業は、すべて市民の皆様と市が、様々な情報とまちづくりへの思いを共有化しながら、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という基本理念により実施しているもので、これらの事業自体も市民の広範な参画をもとに進めております。

　　今回、こうした事業を展開している本市におきまして、どうしても参加の少なかった高校生、特に女子の皆さんを対象に、まちづくりチームを結成。自らが企画した地域活動を実践することを通じ、若者・女性が進んで行政参加を図っていく新たなモデル都市となることを目指し、市民からの事業提案をもとに本事業を企画いたしました。

２　鯖江市役所ＪＫ課の位置づけについて

　　「鯖江市役所ＪＫ課」は、条例等で規定されている正式な鯖江市の課ではございません。あくまで「○○王国」「○○共和国」等と同じような、仮想的に行政組織の「課名」を模した市民主体の１プロジェクト名です。今後、予算成立後にはこのプロジェクトを正式に立ち上げ、市と市民との協働事業として支援をしてまいります。

３　「ＪＫ課」のネーミングについて

　　「ＪＫ課」のネーミングにつきましては、インパクト、若者へのアピール度など様々な観点から市民提案をもとに採用いたしました。大人が想像するイメージは各種あると思いますが、市としましては参加する高校生自身がこの言葉に若者らしい積極的かつさわやかな意味を見出し、従来のイメージを吹きとばすような斬新な活動をしてくれると信じております。

４　事業に参加予定の市民の皆様について

　　「鯖江市役所ＪＫ課」プロジェクトは、市と協働で鯖江市民主役条例を推進している市民団体「鯖江市民主役条例推進委員会」と連携して進めていく予定です。現在、この推進委員会に若者を中心とした「若者部」を新たに設置し、こちらには女子高校生に限らず若い方々や学生、若者の社会参加・行政参加を支援するあらゆる年代の方なども関わっていただくことにしています。今回、その部会員の中から、女子高校生がモデル事業的に上記プロジェクトに参加し、市と協働で自主的な市民参画事業の企画運営にあたっていただくことを考えております。

　　なお、上記「鯖江市民主役条例推進委員会」は、鯖江市に関係のある方ならどなたでも参加でき、意見提案やまちづくり活動等ができますので、興味・関心のある方は鯖江市市民協働課までお問い合わせください。

５　男女共同参画について

　　鯖江市では男女共同参画社会の形成を目的として、平成１５年に男女共同参画推進条例を制定し、男女共同参画プランに基づいて各種施策を実施しております。このうち行政への参画の分野では、審議会等における女性委員の数等は年々増加しているものの、若年層の参加は極めて少ないのが現状です。そのような中で、女子高校生の有志の方々が自主的かつ積極的にこのようなプロジェクトに携わろうとする姿勢が刺激となって、他の世代の女性や市民の皆さんに好影響をもたらすことを期待しております。

６　今後の事業展開について

　　「鯖江市役所ＪＫ課」プロジェクトは、上記のように「市民主役」「市民協働」のまちづくりを推進する鯖江市が、若者・女性の参画を推進する＜社会実験＞的な事業として実施する予定です。今回の事業は慶応義塾大学ＳＦＣ研究所との連携のもと、学術的な事業の検証も合わせて行う中で、男子学生、子どもたち、高齢者の方など他の市民層の皆様の市民参画手法にも応用することで、全国にも例のない新たな施策を開発していきたいと考えております。幸い、多くの皆様から反響をいただいておりますので、プロジェクトの情報を逐次公表し、ぜひ幅広い市民の皆様のご意見を反映していけたらと考えておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。